

京都府子育て支援審議会・京都府少子化対策審議会
京都版母子健康手帳の作成に関する検討会（第2回）
議事概要

- ◆日 時： 令和4年7月27日（水） 14時30分～16時05分
- ◆場 所： 京都ガーデンパレス 会議室「栄」 及び Zoom
- ◆出席者： 委員 別添名簿のとおり

1 開会

2 議事

(1) 部会長代理の選出 松野委員を部会長代理として選出

(2) 「子どもの医療のかかり方」[資料3]

(特定非営利活動法人日本医療政策機構フェロー／子どもと医療代表 阿真 京子氏)

(3) 委員意見交換（主な意見）

- 医療のかかり方について母子手帳に掲載するとして、いかに自分のものにしてもらうか。記載内容や母子手帳の活用方法について、適切なタイミングで適切な内容を伝えていくことが必要。
- 情報提供は、わかりやすくまとめられているアプリを紹介したり、ファイルを渡して時期に応じた中身を追加で配付しファイリングしてもらうなど各自治体でも工夫。
- 病院では家庭の状況等を見て情報提供の仕方や程度を決めている部分もある。
- 医療においても、親が「賢い消費者」になっていくことが必要。
- 母子手帳は「自分のこどものことをよく見て把握するためのツール」。自分で状態を見て、病院に行くべきか等の判断ができるようになり、できるようになった人を見て自分も、と広がっていけばよい。
- 書いてあるものから調べるだけでなく、コミュニケーションが安心に繋がる。
#8000、#7119などの普及にも努めるべき。
- 母子手帳の記載内容は広くなりすぎないように、①必要最小限の記録のページ、②行政ごと・地域ごとの情報提供、③子育てサポートをどうやって行くのか等で整理が必要。

3 その他

4 閉会

(上)